

6 試験科目

1. 共通科目

- (1)外国語 和訳（英語・ドイツ語・フランス語・イタリア語から1科目選択）1時間30分
辞書使用可

留学生については、次のアまたはイのどちらか1つを選択。

ア. 英語・ドイツ語・フランス語・イタリア語のいずれか1か国語を和訳。

イ. 日本語・ドイツ語・フランス語・イタリア語のいずれか1か国語を英訳。

※電子辞書の場合、翻訳機能のないもののみ使用可。ただし、事前に学事部入試係に提出し、許可を得ること。

- (2)専門研究に関する口頭試問。 ※上記「研究計画に関する小論文」の内容を中心に行います。

2. 専攻科目

伴奏者が必要な場合は同伴してください。

①音楽学研究領域

作曲研究：主要作品提出（3作品以上）

※コピーでの提出も可。

※DTM関係の作品については、CD-ROM等も合わせて提出すること。

音楽学研究：研究論文提出

宗教音楽学研究：研究論文提出、宗教作品提出（3作品以上）、典礼・宗教音楽の歌唱（30分程度）、典礼・宗教音楽のオルガンその他の鍵盤楽器演奏（30分程度）の中からいずれか一つ。

音楽教育学研究：研究論文提出、主要作品提出（3作品以上）、器楽（デジタル鍵盤楽器を含む）または声楽実技（30分程度）の中からいずれか一つ。

※提出した作品・論文等は、試験終了後、返却しません。

※デジタル鍵盤楽器について

当日、試験会場内でレジストレーションの設定はできませんので、あらかじめUSBメモリー

を用意してください。使用範囲は、レジストレーション情報（レジストレーションの呼び出しとレジストレーションメモリーのチェンジ）のみとします。また、試験に使用する機種は、ヤマハ・エレクトーン（ELS-02CまたはELS-02X（バイタライズ）*ELS-01CまたはELS-01Xでも可）です。「演奏曲目提出用紙」の使用機種の□に✓してください。

②声楽研究領域

声 楽 研 究：演奏時間1時間前後の自由曲をリサイタル形式により演奏
※研究のテーマに関連した曲を1曲は含めること。

③器楽研究領域

鍵 盤 楽 器 研 究：演奏時間1時間前後の自由曲をリサイタル形式により演奏
弦 楽 器 研 究：演奏時間1時間前後の自由曲をリサイタル形式により演奏
管 打 楽 器 研 究：演奏時間1時間前後の自由曲をリサイタル形式により演奏
※研究のテーマに関連した曲を1曲は含めること。

※原則として西洋楽器を対象とします。それ以外の楽器を希望する場合は、2025年5月30日(金)までに、学事部入試係までお問い合わせください。

※なお、4年制大学音楽学部を卒業していない志願者については、別途課題を与える場合があります。

3. 面接